

アクションプラン1

実施項目	生徒指導
重点課題	思いやりのある子供の育成
現状	<p>子供たちの多くは、「おはようございます」「さようなら」等の日常的な挨拶を行っている。一方で、自ら進んで挨拶をすることを苦手とする子供や、仲のよさと慣れ合いを混同し、場にふさわしい言葉づかいや相手を思いやる声かけが難しい子供もいる。</p> <p>主体的に挨拶運動を企画・運営したり、互いに「〇〇さん」と呼び合ったりすることを通して、相手への思いやりの心をもって行動できる子供を育てていく必要がある。</p>
目標	「挨拶や場に応じた正しい言葉づかい」「思いやりのある言葉かけ」ができたと評価する児童が80%以上になる。
方策1	・道徳や学級活動等で「挨拶や場に応じた正しい言葉遣い」について話し合ったり、挨拶運動を通してよりよい挨拶の習慣化を図ったりする。
方策2	・「ほかほか週間」を実施し、うれしかった言動等を紹介したり、掲示したりすることで、思いやりのある言葉で関わるよさを共有する。
学校関係者評価	運営協議会委員 保護者
公開方法	学校だより・学年だより・保護者会・ホームページ

アクションプラン2

実施項目	学習指導
重点課題	対話力の育成
現状	<p>学習場面において自分なりの考えをもつことはできるが、分かりやすく話すことが苦手な子供や、相手が伝えたいことの要点を捉えて聞くことが苦手な子供がいる。</p> <p>内容を明確にして順序を考えて話したり、話し手が伝えたいことを落とさずに聞き、自分の考えをもったりすることができるよう、伝え合う力を高める必要がある。</p>
目標	「授業中、相手や目的に応じて話したり聞いたりすることができた」と評価する児童が80%以上になる。
方策1	・話す話型を低・中・高学年で実態に応じて作成し、授業で活用する。
方策2	・「聞き名人ポイント」を全校で統一して提示し、授業で活用する。
学校関係者評価	運営協議会委員 保護者
公開方法	学校だより・学年だより・保護者会・ホームページ